

会員近況取材

あーとで人々を明るく

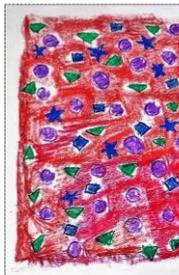
埼玉西支部 万年山えつ子さん

新日美展で独特のコラージュ作品で度々賞を取る万年山(まねやま)さんは、引きこもりや精神不安を抱える人々を支援するボランティア活動です。すでに広く知られているところですが改めて自宅を訪ね取材させていただきました。

六月七日に訪問した時は、20キロも離れている鴻巣市から一人の男性(以下Aさん)がNPO生活支援の二人の女性に付き添われてきていた。病める精神のリハビリのためである。なぜ二人も付き添いが必要なのかというと、Aさんは六〇歳で普段は口数も少なく穏やかだが、発作的に興奮状態になり一人では手に負えなくなるためという。

Aさんは絵を描くことが好きで何も見ることもなく頭にあるものを絵にする。抽象風な模様や動物などおどろくほどの出来栄である。しかし万年山さんの教室でしか描かないのだそう。万年山さんの二十一年に及ぶ指導があつて導き出されたものなのだ。定期的に万年山教室に来て絵を描き精神をすっきりさせて帰るといふ。

万年山さんの指導方法はコラージュ作品に



Aさんが印象で描いた作品

そのヒントが潜んでいる。不要になった着物、落ちていた木の実、空き缶のニップル、輪切りの木材等あらゆるものが教材や作品になる。住まいの隣にもう一軒の家があり、そこには前述した教材がストックされており、その一個一個からヒントを得、アイデアが泉のごとく生まれるようだ。これを病める人々に応用して与え工芸作品を



万年山さんとコラージュ作品「命は続くよ」100号大

造ることで精神のリハビリとなり、自身にとつては芸術作品にもなる。

知的障害のある子は画用紙を与えてもすぐには描き始められない。白紙ではなく少し何か描かれている画用紙を与えると描き始めるという、徐々に自由に描けるようになり一般人より面白いものを描くようになる。そうして気持ちがリラックスし精神が落ち着いてくるという。

万年山さんの活躍はこれだけではない。市の中学校や日赤病院からのオフアード出張ワークショップを請け負っている。こちらは健康者である。7月に川越市富士見中学校の文化体験講座でのワークショップの様子を取材した。

講座に使う30人分の教材を準備するのが大変な仕事だ。スタッフとの教材造りが居住部屋まで占領するほどになる。知人から寄贈されたという輪切りにした木片が作品の土台となる。これに拾い集めた木の実や種・松ぼっくりなどを接着剤で固定して作品を作る。

材料はすべて自然のもので、自然の造形美をとくと味あう事になる。そのあたりの説明をさりげなく行っていた。

文化体験講座とは生徒と家族、一般住民のコミニケーション活動の様だ。ほかのグループでは手品、切り絵、和太鼓なども行われている。万年山グループは中学生一年生から三年生男

女混合で30名が参加した。教室の机を隅へ寄せ作業場の床を広くした。細かい材料を手際よく配るにはスタッフの手が必要だ。担任先生も生徒の組み分けなどの手助けをしている。



教材となる輪切りの木片

一時間余りで作品は完成。接着剤が乾燥する間、不要になったフィルムケースに小石を入れてカスターネットを作り皆で鳴らし、スタッフの本川さんのギター伴奏で、線路は続くよどこまでも...を合唱して楽しんでた。(おだか記)



生徒を前に作品作りの説明をする万年山先生とスタッフの二人

大ケガをのりこえて埼玉県展で受賞

さきたま支部 倉持政子さん

日本画を描き続け、埼玉県展に三十五年出品し続けた倉持さんは、今年一月転んで頭の手術を受ける大けがをした。退院しても肩、腕、指のしびれがひどく、家の中では這って歩く状況だった。もうとても絵を描けるようになると



埼玉県教育委員会教育長賞

「冬の始まり」日本画 50F

は思えなかったという。埼玉県展はレベルが高く、今年は第六十七回展、出品総数は四千点を超えた。入選率は約50%。その中で日本画の部で県教育長賞という大きな賞を受賞した。授賞式とパーティのあった日久しぶりに会い、ケガを乗り越え作品を作り上げた苦労のほどを伺った。

一月末、退院してリハビリに通院している時は又絵が描けるようになるとは思えなかった。諦めないで、きつと良くなるから」という声に励まされ、しびれる指に左手を添えるようにしてスケッチをたくさん描き、構図を考え制作とこぎつけた。

農家なので周囲には自然の材料がいっぱいある。中でも好きなのもうもろこしの茎や葉、実を取った後の枯れた葉などは何とも言えない風情があつて、ほろろずきや野の花と組み合わせることが多かった。

そんな状況で幸いだったのはあらかじめ箔を張って準備していたことだった。描こうと思った三月のさきたま支部展の頃は、まだやれずじまいなのにリハビリをするうち少しづつよくなつていった。好きなとうもろこしをモチーフにして描き始めた。頭痛や指のしびれ、肩や腕の痛みは続いていた。

勤めは止めていたので時間はたっぷりあったが、長年続けた制作の中で一番つらい時間との闘いとなった。構図は今まで縦が多かったが横にしてみた。ケガ